

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
デザイン実習 1 A											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	角田 光代			実務経験	有	職種	インテリアデザイナー				
担当教員紹介											
角田：建築士として、住宅・店舗の意匠設計に12年間携わり、インテリアデザインにこだわる仕事をしてきました。現在は専任教員として自身の経験をインテリアデザインへの興味が広がる授業になるよう展開しています。											
授業概要											
この科目は実際に課題制作を通して表現特性について学びます。空間デザインのための各種図面を描く上で必要な動線計画、内装計画などを順序立てて進めていきます。第一課題は「スペシャルを贈るショーウィンドウ」では、ロケーション、ターゲット、商材、コンセプトとの関係性や表現の考え方を模型を通して考える事を身につけます。第二課題「物語のある家」では、ロケーション、ターゲット、コンセプトの思考とともに、どのような住まい方ができるかを表現します。設計・模型制作を通して空間デザインの技術を身につけることを目的とします。											
到達目標											
課題条件をもとに、テーマ設定しコンセプトを立てられる。他者にイメージがしやすい図面の作図ができる。インテリアエレメント、マテリアルの選定ができる。スケッチ、パース、模型等の制作ができ、他者に意図を伝えられる表現方法の幅を広げる。											
授業方法											
この授業で、はじめて自分自身が設計・デザインした空間をつくる。まずよいデザインを調査することから始め、自身のデザインに落とし込み、発想力を磨けるようなワークフローで進める。課題を通して、デザイン提案に必要な表現技法である各種図面、スケッチ、パース、模型の技術を習得するし、次年度以降につなげていく。											
成績評価方法											
思考力 20% 表現力 20% 制作物（提出成果物） 40% プレゼンテーション力 20% 授業への意欲 の他、成果物、プレゼンテーションまでに至る経過を評価します。											
履修上の注意											
授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受ける事ができない。											
教科書教材											
必要に応じて参考資料等を配布											
回数	授業計画										
第1回	デザインに触れる： 課題①ショーウィンドーを知る、テーマ・コンセプトを考える										
第2回	制作：課題①「スペシャルを贈るショーウィンドウ」のテーマ・コンセプトを考える										
第3回	制作：課題①「スペシャルを贈るショーウィンドウ」を図面化する										
第4回	制作：課題①「スペシャルを贈るショーウィンドウ」を模型化する										
第5回	制作：課題①「スペシャルを贈るショーウィンドウ」を模型化する										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
デザイン実習 1 A	
第6回	制作：課題①「スペシャルを贈るショーウィンドウ」のプレゼンテーションボードをつくる
第7回	発表：課題①「スペシャルを贈るショーウィンドウ」をプレゼンテーションする
第8回	デザインに触れる：課題②住宅のデザインを知る、好きな住宅のデザインを見つける
第9回	制作：課題②「物語のある家」を考える
第10回	制作：課題②「物語のある家」を考える、図面化する
第11回	制作：課題②「物語のある家」を図面化する
第12回	制作：課題②「物語のある家」を模型化する
第13回	制作：課題②「物語のある家」を模型化する
第14回	制作：課題②「物語のある家」のプレゼンテーションボードをつくる
第15回	発表：課題②「物語のある家」のプレゼンテーションをする